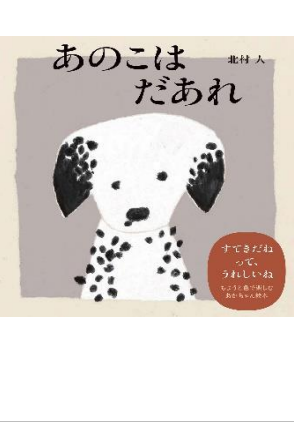


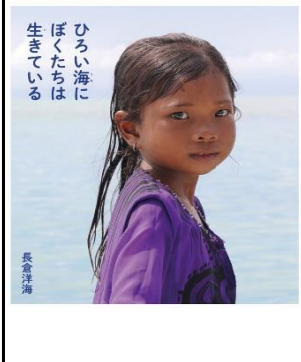
別表 1

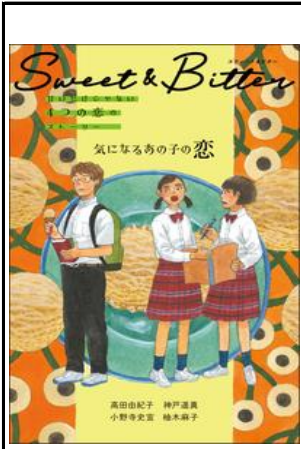
令和7年度 第1回 長野県青少年向け推薦図書一覧表 (2025-1回)

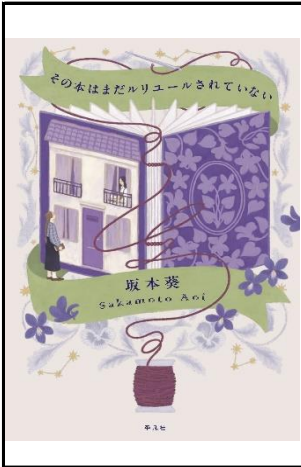
長野県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 図書審査部会

	書名	著者名	対象	本体価格(円)	発行所・発行年月日
1	あのこはだあれ	作・絵 北村 人	幼児～	1,300	岩崎書店 2024年11月
2	まねっこぱくっ！たべもの	文 まつしたさゆり 絵 スズキサトル	年少児～	1,200	ほるぷ出版 2024年7月
3	おちば	文 おーなり由子 絵 はたこうしろう	年中児～	1,500	ほるぷ出版 2024年9月
4	ゆきだま	文 キム・ギジョン 訳 おおたけ きよみ 絵 ムン・ジョンフン	年中児～	1,650	ほるぷ出版 2024年11月
5	おはなしはどこからきたの？	文 さくまゆみこ 絵 保立葉菜	小学校低・中学年～	1,800	BL出版 2024年11月
6	おじいちゃん目 ぼく目	作 パトリシア・マクラ克蘭 訳 若林 千鶴 絵 黒井 健	小学校中学年～	1,300	リーブル 2024年7月
7	おばあちゃんのあかね色	作 楠章子 絵 あわい	小学校中学年～	1,400	佼成出版社 2024年11月
8	ひろい海にぼくたちは生きている	文・写真 長倉洋海	小学校高学年～	1,800	アリス館 2024年12月
9	ダンス・フレンド	作 カミラ・チェスター 訳 櫛田理絵 絵 早川世詩男	小学校高学年～	1,700	小峰書店 2024年10月
10	あの空にとどけ	作 熊谷千世子 絵 かない	小学校高学年～	1,500	文研出版 2024年11月
11	Sweet&Bitter 甘いだけじゃない4つの恋のストーリー 気になるあの子の恋	作 高田由紀子/小野寺史宣 神戸遥真/柚木麻子	小学校高学年・中学生～	1,500	岩崎書店 2024年11月
12	僕には鳥の言葉がわかる	作 鈴木俊貴	中学生～	1,700	小学館 2025年1月
13	正しい目玉焼の作り方 増補版	監修 毎田洋子/井出杏海/木村由依 クライ・ムキ/野原慎太郎 イラスト 森下えみこ	中学生～	1,540	河出書房新社 2025年3月
14	グッナイ・ナタリー・クローバー	著 須藤アンナ	中学生～	1,600	集英社 2025年2月
15	コメディ・クイーン	作 イェニー・ヤーゲルフェルト 訳 ヘレンハルメ美穂	中学生～	2,100	岩波書店 2024年10月
16	その本はまだリユールされていない	著 坂本葵	高校生～	1,700	平凡社 2025年4月
17	This is the Airport	著 飛鳥井千砂	高校生～	1,800	光文社 2025年3月
18	星の教室	著 高田 郁	高校生～	1,600	角川春樹事務所 2025年2月
19	ウクライナ わたしのことも思いだして:戦地からの証言	文・絵 ジョージ バトラー 訳 原田勝	高校生～	2,000	小学館 2025年2月
20	みたてのくみたて	著 田中 達也	高校生～	1,900	ダイヤモンド社 2024年7月

	1		主人公は、ダルメシアンという種類の子犬です。子犬が散歩をしていると、素敵な模様の生き物を見つけました。「あの子はだあれ？」と近づいてみると、それは牛さんでした。牛さんから、「あなたもとってもすてきな模様ね」とほめてもらって子犬は大喜びです。こうして子犬は色々な模様の生き物に出会っていきます。出会った生き物たちは皆、子犬の模様をほめてくれました。そして最後に出会った生き物の模様は、「ぼくににているなあ？」さあ、子犬が最後に出会った生き物は誰でしょう？クレヨンを使ったあたたかなタッチで描かれている模様絵本であり、最後には心があたたかくなる愛情絵本。
	書名	あのこはだあれ	
	著者等	作・絵 北村 人	
	出版社	岩崎書店	
	定価	1,300	
	対象	幼児～	
	発行	2024年11月	
			(分類番号 913)
	2		さあ、親子で色々な食べ物になってみましょう。まずは、バナナです。「まねっこ ぼーず まねっこ ぼーず バナナの まねっこぱくに くつついて ぱくっ! バナナ」ぱくっという言葉に合わせてバナナになります。バナナの他には、おにぎり、ドーナツ、ラーメン、ブロッコリー、エビフライ、お寿司が登場します。あぐらかいたお父さんの膝の上に乗ったり、くつついたり、倒れて重なったりします。まつしたさゆりさんとスズキサトルさんのお二人で、「からだをうごかすえほん」として「まねっこぴたっ! どうぶつ」「まねっこどきっ! おばけ」という本も出版されています。親子で楽しく体を動かしながら、おいしい食べ物になったつもりで読んだり親子のふれあいを楽しんだりすることができる絵本。
	書名	まねっこぱくっ! たべもの	
	著者等	文 まつしたさゆり	
	著者等	絵 スズキサトル	
	出版社	ほるぷ出版	
	定価	1,200	
	発行	2024年7月	
			(分類番号 913)
	3		秋になると、色とりどりの落ち葉に出会います。その落ち葉を両手で、いえ両手では足りずに体全体を使って持てるだけ持って、「せーの!」と空に向かって放り投げたことはありますか。落ち葉をたくさん集めて、たくさん集めた落ち葉を踏んだ時の音や、たくさん集めた落ち葉でふかふかのベッドを作り、そのベッドに飛び込んだ時の気持ちよさを覚えていますか。落ち葉を使って楽しむ様子がお一なりさんの文章とはたさんの絵で生き生きと描かれています。聴いてうっとり、見てうっとりする秋を感じる季節絵本。
	書名	おちば	
	著者等	文 お一なり由子	
	著者等	絵 はたこうしろう	
	出版社	ほるぷ出版	
	定価	1,500	
	発行	2024年9月	
			(分類番号 913)
	4		ある冬の日の朝のことでした。りすのトットルは、学校へ行きたくありませんでした。外は寒いし、学校は遠くにあるからです。ところが戸を開けてみると、外は一面真っ白な雪の世界でした。トットルは嬉しくなって、雪を丸めました。自分のげんこつくらいのおおきさです。トットルは、ころころ、ころころと雪玉を転がしていきました。雪玉はどんどん大きくなって、坂の下でぴたりと動かなくなっていました。そこにうさぎのミミがやってきて……。雪玉がどんどん大きくなっていき、最後にはびっくりすることが起こります。作者であるキムさんの息子さんの体験をもとに生まれた絵本です。息子さんが作った雪の曲も聞くことができます。読む人も一緒になって雪遊びの世界を楽しむことができる季節絵本。
	書名	ゆきだま	
	著者等	文 キム・ギジョン	
	著者等	訳 おおたけ きよみ	
	著者等	絵 ムン・ジョンフン	
	出版社	ほるぷ出版	
	発行	2024年11月	
			(分類番号 929)
	5		昔むかし、アフリカの南にある小さな村にマルザンダバという女の人とゼンゼレという男の人が暮らしていました。二人は、畑を耕したり、かごを編んだり、狩りをしたり、子どもたちの世話をしたりして毎日を忙しく過ごしていました。夫のゼンゼレは木を使って美しい鳥や生き生きとした動物を彫るのが得意でした。ある時、家族でたき火を囲んでおしゃべりをしていてまだ寝るには早いという時に子ども達が、「ねえ、お母さん、なにかおはなしを聞かせて」と言いました。そこで、マルザンダバは、「おはなし」を探す旅に出かけることにしました。マルザンダバは、「おはなし」を見つけることができるのでしょうか。アフリカ大陸の多くの地域で、「おはなし」はとても大きな意味を持っています。「おはなし」の起源を伝える楽しい昔話絵本。
	書名	おはなしはどこからきたの?	
	著者等	文 さくまゆみこ	
	著者等	絵 保立葉菜	
	出版社	B L 出版	
	定価	1,800	
	発行	2024年11月	
			(分類番号 994)

	6		ジョンの一番のお気に入りはおじいちゃんの家だ。おじいちゃんの家では、おじいちゃん目です。いろいろなものを見ることが出来るから。目の見えないおじいちゃんとは違う「おじいちゃん目」で周りのものを見ている。おじいちゃん朝食のメニューも飾られている花の名前も、川辺にいる鳥の名前も、ピタリと当てることができる。ジョンも目をして「おじいちゃん目」で周りのものを見ている。すると、あたたかで豊かな世界が見えてくるのだ。新訳と黒井さんの絵で新たに蘇った四半世紀前に翻訳刊行された名作。
	書名	おじいちゃん目 ぼく目	
	著者等	作 パトリシア・マクラ克蘭 訳 若林 千鶴 絵 黒井 健	
	出版社	リーブル	
	定価	1,300	
	対象	小学校中学年～	
	発行	2024年7月	
			(分類番号 933)
	7		おしゃれが大好きな杏は、おしゃれで優しいおばあちゃんが大好き。「ひとりが気楽」と離れたところに暮らしていたおばあちゃんが「認知症」になり、急にいっしょに暮らすことになる。一見、以前と変わらないように見えたおばあちゃんだったが、何度も同じことを言ってきたり、トイレの場所を忘れてしまい家の中をうろろうしたりする姿を見て、杏は戸惑いを覚える。髪を短く切って、地味な服を着てぼんやりするおばあちゃんは、なんだかおばあちゃんじゃないみたい。杏はおばあちゃんの好きだった洋服を活かしておばあちゃんのおしゃれを手伝うことにする。認知症との共生を描いた物語。
	書名	おばあちゃんあかね色	
	著者等	作 楠章子 絵 あわい	
	出版社	校成出版社	
	定価	1,400	
	対象	小学校中学年～	
	発行	2024年11月	
			(分類番号 913)
	8		世界の紛争地や辺境の地を撮影してきた写真家・長倉洋海さんによる写真絵本。東南アジアのスールー海、カピンガマランギ環礁、マダガスカル島を巡り、海の上で生活する人々の暮らしをとらえている。旅の先で出会った国境や人とのへだたりのない雄大な海、そして共に生る人々の輝くような表情とその暮らしが写し出されている。「みんなのもの」である海や自然が与えてくれる恵みや、そこから広がる営み、境界のない軽やかな生き方に気づく作品。
	書名	ひろい海にぼくたちは生きている	
	著者等	文・写真 長倉洋海	
	出版社	アリス館	
	定価	1,800	
	対象	小学校高学年～	
	発行	2024年12月	
			(分類番号 382)
	9		ダンスが大好きな11歳のレオは場面かんもく症のため家族以外の人と話すことができず、学校でもなかなか友達が作れずにいた。ある日、隣の家に同年のリカが引っ越してくる。レオがだまっていっても明るく話しかけてくるリカに、レオは「友達になれるかも」と思い、しゃべれないわけを手紙に書いて渡すことにする。けれど、実はリカはある大きな秘密を抱えており、二人はすれ違ってしまふのだ。互いに困難を抱える二人が、伝えられないことですれ違いながらも友情を深めていく物語。
	書名	ダンス・フレンド	
	著者等	作 カミラ・チェスター 訳 榎田理絵	
	出版社	小峰書店	
	定価	1,700	
	対象	小学校高学年～	
	発行	2024年10月	
			(分類番号 933)
	10		弟の逢音を事故で失った彩音とその家族は、おじいちゃん暮らす阿坂へ引っ越していく。そこは阿坂温泉太鼓や恩出橋のぎょろりさんなど、逢音が大好きだったものがたくさんあった場所だ。逢音に導かれるように阿坂太鼓のばちを握った彩音だったが、出る音はかたく、全身が筋肉痛で悲鳴をあげる。仲間の言葉に傷つき逃げ出した彩音を立ち止まらせたのは、たしかにここで生きていた逢音の残した足跡だった。大切な家族を失った少女と家族の再生の物語。
	書名	あの空にとどけ	
	著者等	作 熊谷千世子 絵 かない	
	出版社	文研出版	
	定価	1,500	
	対象	小学校高学年～	
	発行	2024年11月	
			(分類番号 913)

	11		人気と実力を備えた作家たちによる、「Sweet & Bitter 甘いだけじゃない4つの恋のストーリー 全3巻」は思春期の恋や性の多様性をテーマにしたアンソロジー。本書は第2巻にあたる「気になるあの子の恋」と題した一冊で、お菓子と恋の織りなす物語は、片思い、両思い、友達以上恋人未満、理想の恋などバラエティー豊かな内容。4人の作家それぞれの持ち味が光り、読み応えのあるストーリー展開も見事だ。恋に悩んだり、ドキドキしたり、登場人物たちが自分を見つめながら成長していく姿には共感できる部分も多く、身近に感じられることだろう。心が温まる甘いお菓子、ほろ苦さのあるコーヒー味など多彩な風味の物語を楽しめる短編集。
	書名	Sweet&Bitter 甘いだけじゃない4つの恋のストーリー 気になるあの子の恋	
	著者等	作 高田由紀子/小野寺史宣 神戸遥真/柚木麻子	
	出版社	岩崎書店	
	定価	1,500	
	対象	小学校高学年・中学生～	
	発行	2024年11月	(分類番号 913)
	12		本書は、「現代のドリトル先生」と呼ばれ、動物言語学を立ち上げた著者による初の単著。大学生時代、軽井沢の森での野外観察中にシジュウカラの鳴き声と行動の関連性に気づいた著者は、約20年にわたる研究からその鳴き声が「言葉」であることを解き明かし、世界を驚かせた。研究者を志したきっかけや鳥への深い愛情、シジュウカラ観察の日々、鳥の言葉を科学的に解明するための実験方法など、言葉を持つのは人間だけではないという大発見までの道のりを、わかりやすい言葉と自身のイラストやユーモアを交えて楽しくつづる。中学校国語の教科書やテレビ番組出演でも知られる著者の、研究生活でのひらめきや発見の喜びに引き込まれる科学エッセイ。
	書名	僕には鳥の言葉がわかる	
	著者等	作 鈴木俊貴	
	出版社	小学館	
	定価	1,700	
	対象	中学生～	
	発行	2025年1月	(分類番号 488)
	13		本書は、人が生きていくうえで必要な衣食住、家事全般の基本について書かれた「きちんとした大人になるための家庭科の教科書」だ。1時間目：洗濯、2時間目：料理、3時間目：片づけと掃除、4時間目：裁縫、5時間目：家庭生活、と5人の監修者が各専門分野を担当し、授業を行うように語りかけ、マンガやイラストでの視覚的な説明も丁寧でわかりやすい。増補版で新たに加わったのが、高校の家庭科教諭である野原慎太郎さん監修による、5時間目：家庭生活の授業だ。経済的自立に欠かせないお金の知識、時代とともに変化する家庭生活や家族についての考えなどを学ぶ。これからの生活や生き方を考え選択肢を増やす、学びの教科「家庭科」を再認識する一冊。
	書名	正しい目玉焼の作り方 増補版	
	著者等	監修 毎田洋子/井出杏海/木村由依 クライ・ムキ/野原慎太郎 イラスト 森下えみこ	
	出版社	河出書房新社	
	定価	1,540	
	対象	中学生～	
	発行	2025年3月	(分類番号 590)
	14		主人公ソフィアは13歳。霧の町チェリータウンで、暴力をふるう支配的な父親と、それを見て見ぬふりの兄との三人暮らしだ。5年前に母親が家を出て行ってから、日々の家事を担い、夜は父親の経営する酒場を手伝うソフィア。友達もなく、図書館の本を読み空想の世界に浸るときだけが自由で楽しい時間だった。そんなある日、向かいの家にナタリーという少女が夏休みを過ごすためにやってきた。一週間しか記憶がもたず、毎週月曜日に新しい自分に生まれ変わるという不思議な少女だ。自由で人目を気にしないナタリーの行動と発言、そんな彼女とふれ合ううちに、ソフィアに変化が訪れる。孤独をかかえた少女たちの繊細な心の動きと成長が胸を打つ物語。
	書名	グンナイ・ナタリー・クローバー	
	著者等	著 須藤アンナ	
	出版社	集英社	
	定価	1,600	
	対象	中学生～	
	発行	2025年2月	(分類番号 913)
	15		12歳の少女、サーシャはうつ病だった母親を亡くし、喪失感のなかにいる。パパは泣かない娘を心配するが、家族を悲しませたママとは正反対の生き方をしてよりよい人生を送ろうとするサーシャは、7つのやることリストを作って実行していく。親友マツタの協力で髪をショートカットにし、本を読むのをやめ、明るい色の洋服を着るなど着実にリストをこなしていく。そして絶対に泣きたくない、パパやみんなを笑わせて生きていこうと決めたサーシャは、リストの最後「コメディ・クイーン」を目指してスタンダップコメディに挑戦する。悲しみをかかえながらも、ユーモアを忘れずに生きようとする少女の成長と、支える家族や友達との絆に心が温まる物語。
	書名	コメディ・クイーン	
	著者等	作 イェニー・ヤーゲルフェルト 訳 ヘレンハルメ美穂	
	出版社	岩波書店	
	定価	2,100	
	対象	中学生～	
	発行	2024年10月	(分類番号 949)

	16		司法書士試験の合格をあきらめた中島まふみは、母校の花園小学校で非常勤の司書として働くことになった。実家へ帰って住むことを避けるため、花園町の「リーブル荘」に引っ越す。大家の綺堂瀧子は有名な製本職人で、引きこもりがちな孫の由良子とともに一階でリユール工房という製本工房を営んでいた。なかなか気持ちを切り替えられずにいたまふみは、本をほどいて閉じ直して新しい表紙に変え再生していく製本に興味を持つ。フランス語で「手仕事の製本」を意味するリユール。図書室にやってくる子どもたちや、工房で出会った少し風変わりな人々との出会いが、まふみだけでなくそれぞれの人生の傷を癒し未来を再構築していく温かな物語。
	書名	その本はまだリユールされていない	
	著者等	著 坂本 葵	
	出版社	平凡社	
	定価	1,700	
	対象	高校生～	
	発行	2025年4月	(分類番号 913)
	17		空港にまつわる6つの連作短編集。娘が海外の学生との交流サイトで知り合った、フランスからの短期留学を希望する高校二年生の女の子を迎えた夫婦は、想像との違いに戸惑う。海外旅行ツアーの添乗員の奮闘、空港内の小さな書店の店員の葛藤、CAになれなかったグランドスタッフたちの長い一日、夜に作業する空港の吹き抜けロビーのディスプレイチームの晴れ舞台。そして同時多発テロ、阪神淡路大震災と東北大震災、コロナ禍と大きな出来事が及ぼす影響を背景に、いろいろな職種の人がそれぞれの想いを抱えながら、空港を行き交う日常を描く。人と人が繋がり生まれる力に、未来への希望が感じられる物語。
	書名	This is the Airport	
	著者等	著 飛鳥井千砂	
	出版社	光文社	
	定価	1,800	
	対象	高校生～	
	発行	2025年3月	(分類番号 913)
	18		2001年3月に20歳を迎える潤間さやかは、ひどいいじめを受けて中学を卒業しておらず、家族との関係もギクシャクしたままだった。ある日、バイト先のレンタルビデオショップでさまざまな事情で義務教育を終えられなかった大人が通う夜間中学の存在を知る。勇気を振り絞って河堀夜間中学へ入学したさやかは、戦争や貧困、外国出身者や病気など、それぞれの事情を抱えた出身も年齢も全く異なる人たちと一緒に学び始める。『「学び」』とは、誰にも奪われないものを自分の中に蓄える、ということ。』クラスメイトや友人たちと支えあいながらかけがえのない学びを得る中で、さやかは叶えたい夢を見つけていく。明日に向かって一歩を踏み出していく物語。
	書名	星の教室	
	著者等	著 高田 郁	
	出版社	角川春樹事務所	
	定価	1,600	
	対象	高校生～	
	発行	2025年2月	(分類番号 913)
	19		2022年2月、ロシアによるウクライナ侵攻が始まった。普通の市民として暮らしてきた人たちが、突然戦争の渦中に投げ込まれる。人の命が理由なく大量に奪われ、住んでいた家や街が破壊されていくその衝撃は想像を絶するものがあり、人々を苦しめ続けている。イギリス人の著者が渦中のウクライナに赴き、4歳から99歳までの老若男女問わず、学生、医師、建築士、兵士などさまざまな人々の体験を聞きとり、戦場のスケッチと証言者の肖像画で伝える。指導者たちは国家の利害や支配欲にかられて戦争をしかけるが、充実した人生を送っているはずの人々が3年もの長い間戦火にさらされている。戦争の苦しみとウクライナの人々の現状を伝えるルポルタージュ。
	書名	ウクライナ わたしのことも思いだして：戦地からの証言	
	著者等	文・絵 ジョージ バトラー 訳 原田勝	
	出版社	小学館	
	定価	2,000	
	対象	高校生～	
	発行	2025年2月	(分類番号 319)
	20		ミニチュア写真家の田中達也さん。いつもしみじみと眺めてしまうあの写真の発想はどこからくるのか。自らの肩書を「見立て作家」とする田中さんの論理的発想法と創作習慣が紹介されている。「見立て」とは①対象を他のものにたとえる、なぞらえること②見て、いいものを選びきめること。この「見立て」の楽しさを伝えるために、なぜ5000日間毎日新作を発表してもアイデアが尽きないのか、見立ての面白さや発想の秘訣を自ら解説し、さらに読者にも取り入れてもらおうと考えている。何から発想し、どんな風に考え、そこからさらに発展させたものが田中さんの作品であることが伝わってくる。見ればあなたも何かひらめく？というアイデアの本。
	書名	みたてのくみたて	
	著者等	著 田中 達也	
	出版社	ダイヤモンド社	
	定価	1,900	
	対象	高校生～	
	発行	2024年7月	(分類番号 740)